

農地荒廃の環境活動に協力

棚田に子供の笑顔  
小豆島町民、傘の花咲かす

笑顔と環境をテーマに活動する東京のNPO法人「MERRY PROJECT」(水谷孝次代表)が8日、香川県小豆島町の棚田「中山の千枚田」で、地元住民の協力を得て、子供たちの笑顔をプリントした傘の花を咲かせた。「子供たちの笑顔には希望と未来を開く力がある」をキャッ



子供たちの笑顔をプリントした傘が棚田を彩った—香川県小豆島町

チフリーズに、同法人は棚田の一面に笑顔の傘の花が咲く光景を各地で撮影する活動に取り組んでおり、展示会などを通じて農地の荒廃が深刻化する環境問題をアピールしていく。  
この日は千枚田のある中山地区の自治会長、九野賢輔さん(63)ら地元住民15人が標高約200㍍の棚田に立ち、子供たちの笑顔をプリントした傘を約30本広げて撮影に協力した。  
今回の活動は、農地の荒廃地域の人たちを元気づけようと計画。代表の水谷さんがインドネシアの大津波

や中国・四川省の大地震の被災地で撮影した子供たちの笑顔を傘にプリントし、7日に岡山県美作市の上山棚田を皮切りに活動を始めた。  
瀬戸内海の島々や都市部の商店街でも活動を予定しており、香川県内での活動初日となったこの日、水谷さんらは高松市役所に大西秀人市長を訪ね、理解や協力を求めた。  
平成7年の阪神大震災で被災地を訪れた水谷さんは「絶望の中にも子供たちの屈託のない笑顔に出会った。子供の笑顔が再生の力を持っていると確信した」と振り返り、今回の活動に期待をふくらませる。